

令和2年度 社会福祉法人 夢のつばさ 事業計画

基本的な考え

どんな障がいを持っていても、かけがえのない個性的な人として、その人なりの活動のしかたで社会に参加し、自己表現のできる場所【働く場・通う場・暮らす場】になる。

1) 運営の方針

集う仲間が自立した日常生活と社会活動へ参加できるよう一人ひとりの個性、能力を最大限生かして、活動の喜びを体験し、意欲を育て、その力を高めていく。また、様々な体験を通してより豊かな日中生活が送れるように支援する。

そのために、利用者一人ひとりの個性・障がい特性を深く理解し、ケアマネジメントの手法による個別支援計画に沿って、できる限り自分の意思で選択・決定・行動できる力を伸ばせるよう支援します。

地域との結びつきを重視し、社会の多くの人々との交流をとおして相互理解を深め、地域とともにある施設になる。また、障がい福祉の拠点として障がいを持つ人とともに地域づくりに寄与していく。

2) 重点事項

① 法人役員、保護者および職員が一丸となって、将来の事業展開、健全な財政運営の在り方について研究し改善に努める。

○生活介護

強度行動障害支援者養成研修、自閉症セミナー等に参加し障害特性の学習を深め支援に生かす。 介護、介助用品の導入により利用者の方とっても安心安全な援助に努める

○就労継続支援B型

○地域活動支援センター

○共同生活援助 開所来、できていなかった利用者負担金の見直しを行う。

② 就業規則・給与規定や虐待防止規定などを改定し、職員の処遇改善を進めサービス提供者として利用者支援の向上や、働きがいのある職場づくりを進める。

組織体制を見直し統括責任者の元連携と責任を果たす。

③ 多機能型事業所、第三者評価を受け、サービス向上につなげたい。

3) 事業所

(1) 阿智村多機能型事業所 夢のつばさ

【生活介護】

利用者 定員 20名 (登録26名)

職員 看護師 2名(兼務1名) 生活支援員 15名(兼務1名)

【就労継続支援B型】

利用者 定員 20名 (登録21名)

職員 目標工賃達成指導員 1名

職業指導員2名 生活支援員2名

◇その他職員 管理者 1名 サービス管理責任者（兼務）
事務 2名 運転手 3名（支援員兼務1名）

○ 生活介護の日課

時間	利用者の動き	職員
8:00		迎え配車
8:30 ~ 9:00	通所・着替え	出勤・朝礼 作業準備・受け入れ
9:00 ~ 12:00	朝の会 作業・リハビリ・ドライブ 健康チェック・水分補給等	生活・作業支援 散歩（夏季・冬季・天候で変更あり）
12:00 ~ 13:15	昼食準備 昼食・休憩	誘導・配膳 食事支援・見守り 昼食・休憩
13:15 ~ 15:15	作業・リハビリ・ドライブ 健康チェック・音楽・アート	生活・作業支援
15:15 ~ 15:30	休憩	
15:30 ~ 15:50	掃除	
15:50 ~ 16:00	帰りの会	
16:00 ~ 17:15	帰宅	送り配車・送り出し・片付け清掃 作業準備・支援記録・ミーティング

○ 就労継続支援B型の日課

時間	利用者の動き	職員
8:00		迎え配車・添乗
8:30 ~ 9:00	通所・着替え	出勤・朝礼 作業準備・受け入れ
9:00 ~ 12:00	朝の会 作業 水分補給	作業支援
12:00 ~ 13:15	昼食・休憩	誘導・配膳・食事支援・見守り
13:15 ~ 15:15	作業	作業支援
15:15 ~ 15:30	休憩	
15:30 ~ 15:50	掃除	
15:50 ~ 16:00	帰りの会	
16:00 ~ 17:15	帰宅	送り配車・送り出し・片付け清掃 作業準備・支援記録・ミーティング

○ 年間行事

月	行事内容	月	行事内容
4		10	ゆうあいレク 地区区民祭
5		11	阿智祭・駅伝大会
6	飯伊障害者スポーツ大会・旅行	12	交流会（小中学校）
7	阿智の夏祭り参加	1	成人を祝う会（新年会）
8		2	
9	長野県障害者スポーツ大会	3	感謝祭

○ 支援内容

◆生活介護

利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう援助する。その方の必要に応じ、排せつ及び食事等の日常生活の介護をはじめ、創作的活動、生産活動（自主製品制作・受託作業等）の機会提供を行う。その他の身体能力又は生活能力の向上のために必要な援助を行う。具体的には散歩、健康管理支援、リハビリ、体操、アート活動、ドライブ、音楽鑑賞、本の朗読や読み聞かせなどゆったりとした時間を提供する。障害特性に合った独立空間

◆就労継続支援B型

利用者が自立した日常生活または社会生活を営むことができるように、生産活動や、就労の機会を提供する。また生産活動や、その他の活動を通じて、就労に必要な知識や、技術を身に付ける。能力向上のために必要な訓練や、他施設の見学、学習会、その他便宜を適切かつ効果的に行うものとする。

その人にあった生産活動・作業を提供し収益にもつなげる。利用者一人ひとりの作業支援とともに自主製品開発研究及び販路の拡大、また外部受託作業を行い収益の積み上げに努める。

作業終了後の衛生を確保するためシャワー室、洗濯機等の設備を検討。

○ 作業内容

- ・食品製造 〔パン工房〕 パン・ケーキ・焼き菓子等
 〔クッキー工房〕 クッキー
 〔加工班〕 餅・地元食材を活用した加工食品製造、委託
- ・農業 〔夢ファーム〕 野菜・花・薪・外注作業
- ・芸芸班 〔夢工房〕 紙漉き等の自主製品・受託作業
- ・喫茶・物販〔西部三村アンテナショップ ふらっとホッと〕
- ・販売活動 イベント販売（地区等各種行事・市役所・合同庁舎）、出張販売
- ・委託販売（病院売店・温泉施設売店・コンビニ・お土産店等）

○ 地域とともにある施設作り地域貢献を念頭に地域の行事には積極的に参加する。

○ ボランティアさんの受け入れを積極的に行う。またボランティアさんの憩えるような場所作りを考える。

地元保育園、小中学校、高校生、福祉施設との交流、施設情報の発信を行う。

国・村道沿道の花壇の手入れ等奉仕活動も積極的に行う。

○ 基本的生活習慣の習得、散歩やマラソンの身体運動・健康管理・野外活動・音楽・絵画などの余暇支援をおこなう。生活の中でのリハビリを計画的に行えるよう定期的に理学療法士に來所いただく。

○ 生活介護、就労継続支援B型それぞれのサービス利用者の方の個別支援計画においてお一人お一人の必要援助により、空間、体制の相互利用を可能とする。

- ケアマネジメント手法による生活介護計画・就労継続支援B型計画に添い一人ひとりの意志及び人格を尊重し常にその人の立場に立った支援を提供する。

[ケアマネジメントの手法とは]

- ・利用者の有する能力、おかれている環境及び日常生活全般の状況の評価を通じて利用者の希望する生活や課題等の把握（アセスメント）を行い、利用者が自立した日常生活を営むことができるように適切な支援内容を検討する。
- ・アセスメント、支援内容の検討結果に基づき、事業者が提供するサービス又は他の福祉サービス等との連携を含めて、利用者の生活に対する意向、支援の方針生活全般の質を向上させるための課題、支援目標及び達成時期等を記載した個別支援計画の原案を作成する。
- ・ご本人及び保護者のニーズを丁寧に聞きとる。
- ・その内容を利用者（保護者）に説明、同意を得、書面を利用者に交付する。
- ・支援計画の実施状況の把握、継続的支援のため定期的な見直し（モニタリング）を行い、必要に応じ支援計画の変更を行う。

- 防災計画

法人 非常災害対策規定により火災、地震を想定した合同避難訓練（夢のつばさ第二幸寿苑・南信州菓子工房）を年2回以上実施し危機管理の意識を持つ。又法人のグループホーム4棟も年3回行い、内1回は地域合同避難訓練に参加する。避難、誘導道路の整備、非常時に対応する設備を検討する。

（2）阿智村地域活動支援センター つばさ作業所

1. 基本的な考え

障がいのある人々が通うことにより生産的及び創作的活動を通じて社会に参加し、ゆたかな地域生活ができることを願いとする。

2. 方針

- ・利用者の意思及び人格を尊重し、常にその人の立場に立った作業訓練、就労支援を行なう。
- ・利用者個々人の個性を尊重し、能力にあった作業内容を研究し、収益につなげることにより働く意欲を高めていく。
- ・地域との結びつきを大切にし、障がいのある人と共に暮らす地域づくりに貢献できるようにする。

3. 内容

- ・多機能型事業所と連携（作業、人的交流）をとる
- ・作業内容 受託作業

4. 利用者定員 13名 職員2名

5. 知的、身体、及び精神障がいのある方を中心に高齢者の方も利用対象とする。

（3）共同生活援助事業（グループホーム）

障がいを持つ方が地域の中で生活を営むために住まいを提供し、食事、健康管理、

生活上の相談等生活全般のサービスを行なう。休祭日支援、地域との交流を支援する。世話人、生活支援員会を定期的に関催、共有・共通意識、技術を持って支援に当たる。保護者との連絡を常に取り合う。また、運営についても共に考えていくために協議会を組織し、自立した経営を図る。

消防署より、夢ハウス（GH）のスプリンクラー設備するように指導を受けています。配置基準を検証する中で配備を検討する。

① つばさホーム	阿智村 春日				
利用者	5名（定員5名）	職員	世話人6名	支援員1名	
② きらきらハイム	阿智村 駒場				
利用者	7名（定員7名）	職員	世話人4名	支援員5名	
③ 夢ハウス	阿智村 駒場				
利用者	5名（定員5名）	職員	世話人3名	支援員6名	
④ どリーむハイツ	阿智村 駒場				
利用者	4名（定員5名）	職員	世話人5名	支援員2名	
その他の職員体制	管理者 1名		サービス管理責任者兼務	1名	

（4）フードサービス 夢 （社会福祉法人への給食提供事業）

1. 方針

目で見てたのしみ、食べておいしく、安全な食事を提供します。

2. 内容

阿智村デイサービスセンター第二幸寿苑の昼食、おやつを受託事業として提供。阿智村多機能型事業所の昼食、おやつの提供栄養管理、栄養指導など食についての相談・支援をする。外部より（村健診等）依頼を受ける。自主製品弁当（おこわ）の製造、ふらっとホッとでの販売を行う。

グループホームの献立作成

職員 管理栄養士 1名 調理員（パート）4名

（5）特定相談支援事業 ういんぐ

市町村おけるすべての障がい福祉サービス等の支給決定には利用計画が義務付けられている。依頼者の方のサービス等利用計画書作成、モニタリングを定期的に行う。市町村との連携をはかり、ご家族、依頼者、サービス事業者の調整役となる。

職員 相談員兼務 1名

（6）移動支援事業

地域生活者の中の移動支援サービスに対する要望に対応する。

（7）タイムケア事業

地域生活者の中のタイムケアサービスに対する要望に対応する。

4) 法人・事業全般

【家族会との連携】

家族会と法人および各事業所は、情報を共有するなかで課題の解決に向けた取り組みをするために、常に連絡を取り合うなど連携を図る。また施設見学等研修を共同で実施する。

【各委員会の設置】

サービスの検証、職員資質向上のため、所内に下記の委員会を設置する

- ・サービス検討委員会（生活環境・日課の見直し、マニュアル検討）
- ・苦情受け付け、検討、解決委員会
- ・研修委員会
- ・危機管理委員会(虐待防止解決委員会兼)
- ・防災委員会
- ・工賃検討、販売促進委員会

【職員研修計画】

長野県、知障協等の研修に参加 知障協各部会に参加 代表者会研修会 地域支援部会
日中活動支援部会 新入職員研修会

南信施設職員交流会等 リスクマネジメント 苦情対応等

・新入職員研修・相談従事者・サービス管理責任者養成研修等・ボランティアコーディネーター研修)

技術を高めるための学習

- ・農業 ・菓子等製造 ・介護 ・アート その他
- ・先進施設、他施設見学（体験実習・他施設との交流）

県内外フォーラム、全国レベルの学習会

○職員会・施設内研修計画

水曜日 17:30~19:00

	第1週(火)	第1週(水)	第2週	第4週 研修
4月	主任・班長会定	職員会議・伝達会	ケース検討会	接遇・身体介助技術
5月	主任・班長会定	職員会議・伝達会	ケース検討会	
6月	主任・班長会定	職員会議・伝達会	ケース検討会	救急救命講習
7月	主任・班長会定	職員会議・伝達会	ケース検討会	
8月	主任・班長会定	職員会議・伝達会	ケース検討会	個人研修報告
9月	主任・班長会定	職員会議・伝達会	ケース検討会	
10月	主任・班長会定	職員会議・伝達会	ケース検討会	見学研修
11月	主任・班長会定	職員会議・伝達会	ケース検討会	
12月	主任・班長会定	職員会議・伝達会	ケース検討会	虐待防止
1月	主任・班長会定	職員会議・伝達会	ケース検討会	
2月	主任・班長会定	職員会議・伝達会	ケース検討会	リスクマネジメント 苦情解決
3月	主任・班長会定	職員会議・伝達会	ケース検討会	個人研修報告

最終金曜日 班を予定